

平成26年第3回白石町議会定例会会議録

会議月日 平成26年3月20日（第15日目）
場 所 白石町役場議場
開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	川崎一平	10番	秀島和善
2番	前田弘次郎	11番	井崎好信
3番	溝口誠	12番	大串弘昭
4番	大串武次	13番	内野さよ子
5番	吉岡英允	14番	西山清則
6番	片渕彰	15番	岩永英毅
7番	草場祥則	16番	溝上良夫
8番	片渕栄二郎	17番	久原房義
9番	久原久男	18番	白武悟

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	杉原忍
教育長	江口武好	総務課長	百武和義
財政課長	片渕克也	税務課長	吉原拓海
企画課長	相浦勝美	住民課長	一ノ瀬清雄
保健福祉課長	堤正久	長寿社会課長	片渕敏久
水道課長	荒木安雄	下水道課長	赤坂和俊
産業課長	赤坂隆義	農村整備課長	嶋江政喜
土木管理課長	小川豊年	建設課長	岩永康博
会計管理者	岩永信秀	学校教育課長	北川勝己
生涯学習課長	本山隆也	農業委員会事務局長	大串玲子

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長 鶴崎俊昭
議事係長 吉岡正博
議事係書記 片渕英昭

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

17番 久原房義 1番 川崎一平

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第15号 平成25年度白石町一般会計補正予算（第7号）
（討論・採決）

日程第3 議案第21号 平成26年度白石町一般会計予算
（討論・採決）

日程第4 議案第28号 平成25年度白石町一般会計補正予算（第8号）
（討論・採決）

日程第5 発議第2号 白石町議会議員政治倫理条例の制定について
（採決）

日程第6 発議第3号 白石町議会委員会条例の一部を改正する条例について
（採決）

日程第7 発議第4号 容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進
するための法律の制定を求める意見書について
（採決）

日程第8 議員の派遣

日程第9 常任委員会の閉会中における所管事務調査

9時30分 開議

○白武 悟議長

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

日程第1

○白武 悟議長

日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。

会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、久原房義議員、川崎一平議員の両名を指名いたします。

日程第2

○白武 悟議長

日程第2、議案第15号「平成25年度白石町一般会計補正予算（第7号）」を議題とします。

本案は、質疑が終了しておりますので、討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第15号「平成25年度白石町一般会計補正予算（第7号）」について採

決をいたします。本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立多数です。よって、議案第15号は原案のとおり可決されました。

日程第3

○白武 悟議長

日程第3、議案第21号「平成26年度白石町一般会計予算」を議題とします。

本案は、質疑が終了しておりますので、討論に入ります。討論ありませんか。

○秀島和善議員

私は、議案第21号「平成26年度白石町一般会計予算」に反対の立場で討論をさせていただきます。

日本の働く人の所得、雇用者報酬は1997年を起点として14年間に88%まで落ち込みました。同じ時期に欧米諸国の雇用者報酬が1.3%倍から1.9倍程度と、どこでもふえていることと比較して、賃下げが続いている日本社会は、発達した資本主義国でほかに類を見ない異常なものとなっています。この春闘でも14年ぶりに一部の大手で若干のベースアップが見られるようです。厚生労働省が3月18日に発表した1月の毎月勤労統計調査によると、基本賃金に当たる所定内給与は前年同月日で0.2%減の23万8,436円と20カ月連続で前年を下回りました。本町の農家、御商売をする町民、高齢者、若い子育て真っ最中の若者などもどん底の経済から脱し切れず、毎日日々医療、雇用、生活、子育て、農業運営などに大きな不安を抱えて生活しています。このような実態にあるからこそ、暮らしと福祉と産業の守り手としての行政の仕事は全力を挙げて一人の町民も路頭に迷わさないという決意と予算で臨むべきです。

以下、8点の予算にはどうしても賛成しかねますので、田島町長は町民の暮らしを命がけで守る責任から予算の組み替えを要求するものです。

まず第1に、高い国保税を引き下げるために国民健康保険特別会計に思い切った繰り入れを行い、1世帯年間1万円の引き下げを実行すべきです。

第2に、後期高齢者医療制度への負担金は町民の願いとは逆行しています。2014年度、2015年度は平均で年額5万7,846円となり、現行から948円引き上げられ、上昇率は1.67%になります。財界が喜ぶような医療制度ではなく、真に町民のためになる医療であり、老後が安心できる医療制度が必要です。一日も早く制度を廃止して、もとの老人医療制度に戻すことが必要です。

第3に、障害者自立支援法関連予算について反対であります。新体系に移行すると言っていますが、法律上の応益負担と日割り補助については廃止をしていくことが必要です。

第4に、ごみ広域化の負担金です。広域化による大型溶融炉施設の問題点を多く抱えています。今、環境問題は地球規模で全ての国が知恵を出し合っている中、世界の常識はごみを出さない、燃やさないとなっている中、現在の計画は全く逆行するものです。

第5に、同和事業や同和教育などを特別視することにつながる予算は廃止すべきで

す。全国でも部落解放同盟の不法事件は全国各地での職員の不正や暴力団との癒着問題、兵庫県八鹿高校の教職員68名への集団暴行事件などの反省はなく、現在も確認会や糾弾会の方針は堅持しています。

第6に、新幹線西九州ルート事業の推進を図る事業費は謝礼金とも言える県補助金は不要です。佐賀県民の約7割弱が長崎新幹線は無駄と言っている中、何ゆえ町民、県民の血税である3,000億円近い予算を使う必要があるのでしょうか。そのような県民の意向と逆行することに税金は使わずに、県としても一日も早く子供の医療費無料化を小学校6年生まで実現することが重要です。

第7に、高い水道料金を引き下げるために水道特別会計に繰り入れを増額するべきです。

第8に、新エネルギー計画の具体化のためにも太陽光発電システム導入促進のための補助金は今後も必要です。生きる権利は町民にあり、守る義務は国と県と町にあるのです。現在、政府は年金を引き下げたり支給年齢を68歳にする考えを述べ、その上、消費税率を5%から8%、10%へ引き上げる計画です。国が町民の命と暮らしを守らないのであれば、最後のとりでとしての白石町が体を張って。

○白武 悟議長

簡潔にお願いします。

○秀島和善議員

町民の暮らしと命と福祉を守るべきではありませんか。そのことを述べて反対討論とさせていただきます。

○白武 悟議長

ほかに討論ありませんか。

○片渕栄二郎議員

私は賛成の立場で討論をさせていただきます。

今年度は町長と語る会を開催され、町民の御意見、御提案を参考にされて、白石町総合計画におけるまちづくりの基本方針に沿って、特定環境保全公共下水道事業では処理場が完成し第1期地区がほぼ完了の予定となっており、防災システムの機能強化を図るため調査検討し予算計上されているところでございます。少子化対策では、婚活サポート事業、新規就農者への支援として親元就農者への助成事業、地域農業水利施設のストックマネジメント事業、小・中学校の全教室に電子黒板の整備など、ほか多くの事業にくまなく予算編成されていることは評価されるもので、賛成討論といたします。

なお、議員皆様方の御賛同をよろしくお願ひし、賛成討論とさせていただきます。

○白武 悟議長

ほかに討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで討論を終わります。

これより議案第21号「平成26年度白石町一般会計予算」について採決をいたします。
本案に賛成の方は起立願います。

[賛成者多数]

起立多数です。よって、議案第21号は原案のとおり可決されました。

日程第4

○白武 悟議長

日程第4、議案第28号「平成25年度白石町一般会計補正予算（第8号）」を議題とします。質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第28号「平成25年度白石町一般会計補正予算（第8号）」について採決をいたします。本案に賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

起立全員です。よって、議案第28号は原案のとおり可決されました。

日程第5、6

○白武 悟議長

日程第5、発議第2号「白石町議会議員政治倫理条例の制定について」、日程第6、発議第3号「白石町議会委員会条例の一部を改正する条例について」を一括して議題とします。

趣旨説明を求めます。

○久原房義議員

発議第2号「白石町議会議員政治倫理条例の制定について」の提案理由を申し上げます。

平成25年度において議会改革特別委員会は先進地研修を含む委員会9回、議員全員協議会3回を開き、先進事例等も参考にしながら鋭意検討、協議を重ねてまいりました。町民皆様の厳粛な信託を受けた者であることを認識し、その負託に応えるため議員の政治倫理に関する規律の基本となる事項を定めることにより議員の政治倫理の確立と向上に努め、常に良心に従い誠実かつ公正にその職務を行うべきことを促し、公正で開かれた民主的な町勢の発展に寄与するため議員の政治倫理条例を制定するものでございます。御議決のほどよろしくお願い申し上げます趣旨の説明といたします。

○岩永英毅議員

発議第3号の提案理由を申し述べます。

白石町課設置条例の一部改正に伴い、白石町議会委員会条例の一部を改正するものでございます。議員各位の賛同をよろしくお願いいたします。

○白武 悟議長

お諮りします。

発議第2号及び発議第3号につきましては、条例の制定及び一部改正の趣旨内容も判明しており、議員全員の同意も得ておりますので、この際、質疑、討論を省略することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより発議第2号「白石町議会議員政治倫理条例の制定について」を採決をいたします。

お諮りします。

発議第2号については原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、発議第2号は原案のとおり可決されました。

続いて、発議第3号「白石町議会委員会条例の一部を改正する条例について」採決をいたします。

お諮りします。

発議第3号については原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、発議第3号は原案のとおり可決されました。

日程第7

○白武 悟議長

日程第7、発議第4号「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書について」を議題とします。

事務局に意見書案を朗読させます。

○鶴崎俊昭議会事務局長

意見書案を朗読いたします。

容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書(案)。

容器包装リサイクル法、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律は、リサイクルのための分別収集、選別保管を税負担で行うことになっているため、上位法である循環型社会形成推進基本法の3Rの優先順位に反してリサイクル優先に偏っています。このため家庭から出されるごみ総排出量の減量は不十分で、環境によりリユース容器が激減し、リサイクルに適さない容器包装が使われているのが実態です。根本的な問題は、自治体が税負担で容器包装を分別収集しているためリサイクル

に必要な総費用のうち約8割が製品価格に内部化されていないことにあります。このため容器包装を選択する事業者には真剣に発生抑制や環境配慮設計に取り組もうとするインセンティブ、誘引が働かず、ごみを減らそうと努力している住民には負担のあり方について不公平感が高まっています。今日、気候変動防止の観点から資源の無駄遣いによる環境負荷を減らすことは急務であり、デポジット制度の導入を初めとした事業者責任の強化が不可欠となっています。よって、白石町議会は我が国の一日も早い持続可能な社会への転換を図るため、政府及び国に対し以下のとおり容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律を制定することを強く求めます。

記。1、容器包装の拡大生産者責任を強化し、リサイクルの社会的コストを低減するため分別収集、選別保管の費用について製品価格への内部化を進めること。

2、レジ袋使用量を大幅に削減するため有料化などの法制化について検討を進めること。

3、2R、リデュース、発生抑制、リユース、再使用の環境教育を強化し、リユースを普及するため学校牛乳の瓶化を促進されるようにさまざまな環境を整備すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成26年3月。佐賀県白石町議会。

衆議院議長伊吹文明様、以下様を略します、参議院議長山崎正昭、内閣総理大臣安倍晋三、財務大臣麻生太郎、厚生労働大臣田村憲久、農林水産大臣林芳正、経済産業大臣茂木敏充、環境大臣石原伸晃、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）森まさこ。

以上です。

○白武 悟議長

趣旨説明を求めます。

○内野さよ子議員

発議第4号「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書について」の提案理由を説明します。

容器包装リサイクル法については、分別収集するかないかということについては市町村の裁量に委ねられています。事業所は市町村がリサイクルしたものを回収するというような仕組みで事業者への義務も自己申告というようなりサイクルの責任の所在が明確ではありません。このため費用割合についても行政の負担は大きく、問題となっています。廃棄物分野において拡大生産責任ということが関心を集めており、廃棄物の大量生産を回避し、製品が廃棄物になった際の処理やリサイクルに生産者が責任を持つことになれば、製品の設計や素材選択において有害性を低下させ、リサイクル性を高めていくことになると考えられます。容器包装や家電、自動車などの廃棄物処理やリサイクルに関する法律には拡大生産責任が適用されています。しかし、回収やリサイクルを誰が実行し、そのための費用を誰がどの時点で支払うかという具体的なシステムが多様であり、うまく行えるような整備が今後必要であると考えられるた

め、ここに提案をいたします。よろしく願いいたします。

○白武 悟議長

お諮りします。

発議第4号につきましては、全員賛成による提出であり、内容等も判明しておりますので、質疑、討論を省略することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認め、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより発議第4号「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書について」採決をいたします。

お諮りします。

発議第4号は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、発議第4号は原案のとおり可決されました。

日程第8

○白武 悟議長

日程第8、議員の派遣を議題とします。

お手元に平成26年度の議員の派遣計画を配付しております。

お諮りします。

会議規則第121条の規定により、この計画表に基づき議員の派遣をいたしたいと存じます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、議員の派遣計画に基づき議員を派遣することに決定しました。

日程第9

○白武 悟議長

日程第9、常任委員会の閉会中における所管事務調査を議題とします。

会議規則第72条の規定によりお手元に配付しております各常任委員長から閉会中の継続調査について申し出がっております。本件について各常任委員長から報告をお願いいたします。

○久原房義総務常任委員長

総務常任委員会の閉会中の継続調査申出書について説明申し上げます。

本委員会は、所管事務のうち下記の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定いたしましたので、会議規則第2条の規定により申し出ます。

1、事件としまして、雨季及び台風襲来等の前に防災についての町内の調査を実施いたしたいと思います。

2番目に、県内自治体による先進事例としての新エネルギーについての調査を実施

いたしたいと思っております。

期間といたしましては、次期議会の定例会開会の前日までに実施をいたしたいと思っております。

以上でございます。

○内野さよ子文教厚生常任委員長

閉会中の継続調査の申出書。

文教厚生常任委員会では、次の事件について調査を行いたいと思っております。

町内には文化財も多く、今回、一般質問も多く出ましたので、ここに改めて文化財の状況について調査を行いたいというふうに思っております。

期間については次期議会定例会の開会の前日まで、具体的には4月後半を予定しております。よろしくお願いたします。

○大串弘昭産業建設常任委員長

それでは、産業建設常任委員会より閉会中の継続調査の申し出を行いたいと思っております。

1番目に、事件として、突発的かつ緊急を要する問題が生じた場合に、その問題について、とりわけ産業建設常任委員会の所管におきましては、今日、農業あるいは農政、公共事業等、課題山積しております。その都度、現場におきまして変化があった場合にそれに対応してまいりたいと思っております。

期間といたしましては、次期議会定例会開会の前日までということをお願いをいたします。

○白武 悟議長

お諮りします。

各委員長から申し出を閉会中における所管事務調査とすることに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調査とすることに決定しました。

以上で本定例会に付された案件は全て終了しました。

会議を閉じます前に町長より挨拶があります。

○田島健一町長

平成26年3月定例議会の閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

議員の皆様方に今回提案いたしました議案、たくさんございましたけれども、十分御審議をいただきまして原案どおり可決いただきましたこと、まずもってありがたく、厚くお礼申し上げます。

私にとりましては、町政のかじ取りをさせていただき1年が過ぎたところでございますけれども、今回は年度当初予算として当初から本格的に取り組んで提案いたしま

した最初の議会でありましたことから、緊張感を持っての定例議会でした。数多くの一般質問をいただき、また議案審議の中においてもいろんな意見を伺いました。意見などを糧に現在本町が持っております総合計画、その基本理念である「人と大地がうるおい輝く豊穰のまち」の実現のため、さらに私が公約として掲げております町民の皆さんが笑顔で元気に暮らせる豊かなまちづくりに向かって2年目をスタートさせ頑張っていく所存でございます。

なお、総合計画は今年度限りでございますので、白石町がもっともっと輝いていくよう、新たな総合計画を議会の皆様の力をかりながら町民の皆様と一体となって策定してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

いずれにいたしましても職員と一丸となって住民サービス、事務事業の執行をしてまいりたいと考えております。どうぞ今後も御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、今議会での原案どおり可決いただきましたことに対するお礼とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○白武 悟議長

これもちまして平成26年第3回白石町議会3月定例会を閉会いたします。

9時59分 閉会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成26年3月20日

白石町議会議長 白 武 悟

署 名 議 員 久 原 房 義

署 名 議 員 川 崎 一 平

事 務 局 長 鶴 崎 俊 昭